

2019.12.13

日本銀行山形事務所

今回山形短観における主な判断、事業計画の動き

(2019年12月調査)

1. 業況判断

12月調査では、製造業、非製造業とも悪化したため、全産業では▲8 と前回調査から▲13 ポイント悪化した。因みに、前回調査では悪化、水準は▲3 を予測していた。

製造業・・・化学、電気機械、輸送用機械が横ばいとなった中、はん用・生産用・業務用機械が悪化したため、全体では▲17 と前回調査から▲13 ポイントの悪化となった。前回調査では、水準は▲19 を予測していた。

非製造業・・・卸・小売、電気・ガスが改善したものの、建設、情報通信、対事業所サービス、宿泊・飲食・対個人サービスが悪化したため、全体では0 と前回調査から▲13 ポイントの悪化となった。前回調査では、水準は11 を予測していた。

先行き(2020年3月予測)は、製造業は改善、非製造業は横ばいとなるため、全産業では▲7 と1 ポイントの改善を予測。

2. 売上・収益計画

(1) 売上高

2019年度(計画)は、製造業は前年度比▲0.6%の減収、非製造業は同0.4%の増収となり、全産業では同▲0.1%の減収計画。

前回調査との比較では、製造業(修正率▲1.2%)、非製造業(同▲0.3%)とも下方修正され、全産業では▲0.8%の下方修正となった。

(2) 経常利益

2019年度(計画)は、製造業は前年度比5.7%の増益、非製造業は同▲23.4%の減益となり、全産業では同▲3.9%の減益計画。

前回調査との比較では、製造業(修正率10.2%)、非製造業(同1.1%)とも上方修正され、全産業では7.6%の上方修正となった。

3. 設備投資額（含む土地投資額）

2019年度（計画）は、製造業は前年度比▲30.1%、非製造業は同▲27.1%の減少となり、全産業では同▲28.8%の減少計画。

前回調査との比較では、製造業（修正率▲1.0%）が下方修正されたものの、非製造業（同7.7%）が上方修正されたため、全産業では2.6%の上方修正となった。

4. 雇用

雇用人員判断・・・ 製造業は「不足」超幅がやや縮小したものの、非製造業は「不足」超幅が拡大したため、全産業の「不足」超幅は▲33と前回調査比拡大。先行き（2020年3月予測）の「不足」超幅はさらに拡大を予測。

新卒採用計画（全産業）・・・2019年度は、前年を下回るものの、2020年度は、前年を上回る計画。前回調査（6月調査）との比較では、2019年度（修正率▲3.1%）、2020年度（同▲6.6%）とも下方修正となった。

以 上